



遺伝看護専門看護師の活動

遺伝看護専門看護師は、疾患の遺伝学的関与、遺伝的課題を抱えた人々に対して、遺伝看護の知識と技術を用いながら水準の高い看護ケアを提供します。

遺伝的課題や遺伝性疾患は複数の診療科、職種がかかわるといった特徴があるため、遺伝看護専門看護師は看護の視点を活かして組織横断的に協働していく役割も担っています。

私たち遺伝看護専門看護師は、対象者の遺伝的課題を見極め、診断・予防・治療に伴う意思決定支援と QOL向上を目指した生涯にわたる療養生活支援を行い、世代を超えて必要な医療・ケアを受けることができる体制の構築と、ゲノム医療の発展に貢献することを目的として活動しています。

遺伝看護専門看護師が考えるこれからの課題

変化の激しいゲノム医療において、遺伝看護専門看護師がどのような役割を担い、社会に貢献していくべきか見定めながら活動を継続しています。

市民のニーズに応え、遺伝的課題を持つ人々に適切な医療を提供していく仕組みづくりが求められています。遺伝看護専門看護師は、対象者が遺伝的課題と向き合い、自分らしく生活することを支援していくことと、多くの看護職が遺伝看護を実践できるように、最新の知識や技術を研究し、臨床に応用させ、組織の活性化や変革の促進を目指していきます。

遺伝看護専門看護師養成校、登録者の情報は、
日本看護協会HPをご参照ください。





遺伝/ゲノム看護

遺伝/ゲノム看護は、疾患の遺伝学的関与に焦点を当てて、遺伝的課題をもちながら社会で生活する人に対し、より良い暮らしができるように支援していきます。ゲノム医療の進歩により、効果的・効率的な疾患の診断・治療・予防が可能になってきた一方で、遺伝子を調べることで治療が難しい疾患であることが分かったり、将来起こりうる健康上の問題が分かったり、疾患の可能性を血縁者間で共有していることで様々な不安や負担を抱えることもあります。

こうした不安や負担に対して心理・社会的支援を提供し、また個々の体質・疾患を正しく理解し、適切な医療を受けられるように支援します。遺伝情報を用いて、症状マネジメントや発症予防、疾患の早期発見につながるように支援し、その人らしい生活が送れるよう健康行動を共に考えていく看護を行っていきます。

遺伝医学の進歩によりあなたが働く医療現場には 遺伝/ゲノムの知識・技術が多く応用されています

周産期領域

- ・着床前診断や出生前検査の拡大
- ・妊娠中に遺伝性疾患を診断

難病・希少疾患領域

- ・難病等に対する遺伝子検査の保険収載拡大
- ・遺伝子治療の進歩
- ・未診断疾患イニシアチブ(IRUD)による疾患の診断確定や原因遺伝子の解明

がん

- ・遺伝子検査による治療方針決定
- ・遺伝性腫瘍の診断と予防医療

小児

- ・新生児スクリーニング検査の拡大による遺伝性疾患の早期診断
- ・疾患の原因遺伝子の同定と診断、治療

遺伝/ゲノム医療における遺伝看護専門看護師の役割

高度な看護実践の提供

- ・遺伝的課題/遺伝性疾患の特徴を捉えた情報提供、対話と相談により理解を促す
- ・対象者の顕在的・潜在的課題を明確にし、最善の意思決定を支える
- ・遺伝的課題/遺伝性疾患の医学的特性を踏まえて生活の支援を行う

教育活動

- ・医療従事者等を対象にした遺伝看護の普及・啓発活動
- ・コンサルテーションによる看護ケアの質の向上
- ・市民を対象とした遺伝医療、遺伝看護の普及・啓発活動

ゲノム医療の提供に向けた体制構築・整備

- ・患者が安心して受けられるように日進月歩で変化するゲノム医療の体制構築を行う

チーム医療での協働

- ・保健医療福祉に従事する多職種との協働

